

世界保健機関（WHO）国際分類ファミリー（FIC）協力センター長会議について

1. WHO 国際分類ファミリー戦略会議（World Health Organization Family of International Classifications Strategic Planning Meeting）

（1）日時・場所

平成 14 年 10 月 11 日（金）～10 月 12 日（土）

オーストラリア国 ニューサウスウェールズ州 シドニー市

（2）目的

WHO は健康の指標分類のうえで指導的役割を果たしており、さまざまな国、地域から異なる時点で集計された死亡や疾病のデータの体系的な記録、分析、解釈および比較を行うため設けられた分類である ICD「疾病および関連保健問題の国際統計分類：International Statistical Classification of Disease and Related Health Problems」（以下「ICD」と略す）を中心に啓発、普及活動を行ってきた。特に、1998 年、現ブルントラント WHO 総長の就任以降、統計における指標分類に従来以上の重きが置かれるようになり、担当の CAS（the Classification, Assessment, Surveys and Terminology）チームが中心となって健康統計指標の拡大が行われてきた。

2001 年 5 月の総会では、ICF「国際生活機能分類：International Classification of Functioning and Disability」（以下 ICF と略す）と合同した WHO-FIC（国際分類ファミリー：WHO Family of International Classification）が採択された。これを受けて、ICD センター長会議は 2001 年よりセンターの代表のみを招聘して FIC 戦略会議を行い、WHO-FIC の方向性、活動内容を議論していくこととなった。

（3）会議の概要

WHO は、ICD、ICF を中心としつつ、腫瘍、神経学、プライマリ・ケア版などの新分類を加えることにより健康に関する国際統計分類を表す概念である FIC を拡張し、最終的に世界健康調査（World Health Surveillance；以下「WHS」と略す）を行う意図がある。現在の WHO の課題は、ICD を中心に、ICF やその他の分類ファミリーを普及・拡大することであり、今回の会議では、2002 年 4 月にフランス国クルセイユ市で開催された WHO-FIC 代表者会議での決定に基づいた 13 項目について議論・検討が

行われた。

2. 国際分類ファミリー・WHO 協力センター長会議報告 (ICD 関連部分) (Meeting of Heads of WHO Collaborating Centres for The Family of International Classifications (WHO-FIC))

(1) 日時・場所

平成 14 年 10 月 14 日 (月) ~10 月 19 日 (土)
オーストラリア国 クイーンズランド州 ブリスベン市

(2) 会議の目的及び概要

オーストラリア、シドニーで行われた WHO-FIC 戦略会議に引き続き開催された。

WHO は 1979 年より毎年世界各国の ICD のセンター長を招いて (現在 10 センター) センター長会議を開催し、今後の活動、問題点などを話し合っており、日本は初回会議よりオブザーバーとして参加している。

センター長会議については、現在、ICD センター長会議から、WHO-FIC センター長会議と名称が変更されている。

WHO は、ICD、ICF を中心としつつ、腫瘍、神経学、プライマリ・ケアなどの新分類を加えることにより健康に関する国際統計分類を表す概念である FIC を拡張し、最終的に世界健康調査 (World Health Surveillance ; 以下「WHS」と略す) を行う意図がある。

しかし、現状は、FIC のなかでも ICD に関する議論が中心で、ICD と ICF との統合について検討してはいるものの、両者の共通性がほとんどないため、両者の専門家がそれぞれの活動を行い、他の新分類については試験的に行われている段階である。

センター長会議では、まず戦略会議での検討内容が発表され、これからの FIC の方向性が討議された。引き続き 7 つのグループに分かれて議論が行われた。

わが国としては、ICD に関する 2001 年の年報を提出するとともに、研究報告として日本の健康に関する統計、ICD の導入の歴史等を発表した。研究報告については、各国からの賞賛を得るとともに、活発な議論が繰り広げられた。

FIC には 7 つのグループがあり、そのうちの 5 つが ICD に関連している。以下、各グループの討議概要を述べる。

① 国際分類ファミリー拡張委員会:Family Development Committee (FDC)

WHO WONCA の作業班である。ICD 及び ICF に関連する新たな分類の導入、検討及び普及・啓蒙に関わる。

② ICD-10 普及委員会 : ICD-10 Implementation Committee

ICD-10 がまだ導入されていない途上国に ICD-10 を普及することを目的とする。また、ICD-10 が容易に導入できるように必要なツールをコンパクトに集約する概念として「ICD-10 in a box」が提唱され、今後その詳細について検討することと、ICD-10 の基盤となる動態統計の確立を目指すことを結論した。

③ トレーニング・認定グループ : The subgroup on Training and Credentialing (T&C)

死因及び病因のコーダーの育成・認定に関する検討グループであるが、まだ歴史の浅いグループであり、各国のトレーニング等に関する情報交換の段階である。

④ 分類改正委員会 : Update Reference Committee (URC)

2004 年の小改正、2006 年の大改正に向けての話し合いがなされた。検討された 12 項目のうち、精神疾患、糖尿病に関わる 3 項目については、今後、WHO が委員会を立ち上げて検討することとなった。他の項目については、ほぼ全員一致で改正を認めた。

⑤ 死因分類改正グループ : Mortality Reference Group (MRG)

URC の下部組織である。2 回の討議の中で、URC に提案する項目が話し合われた。

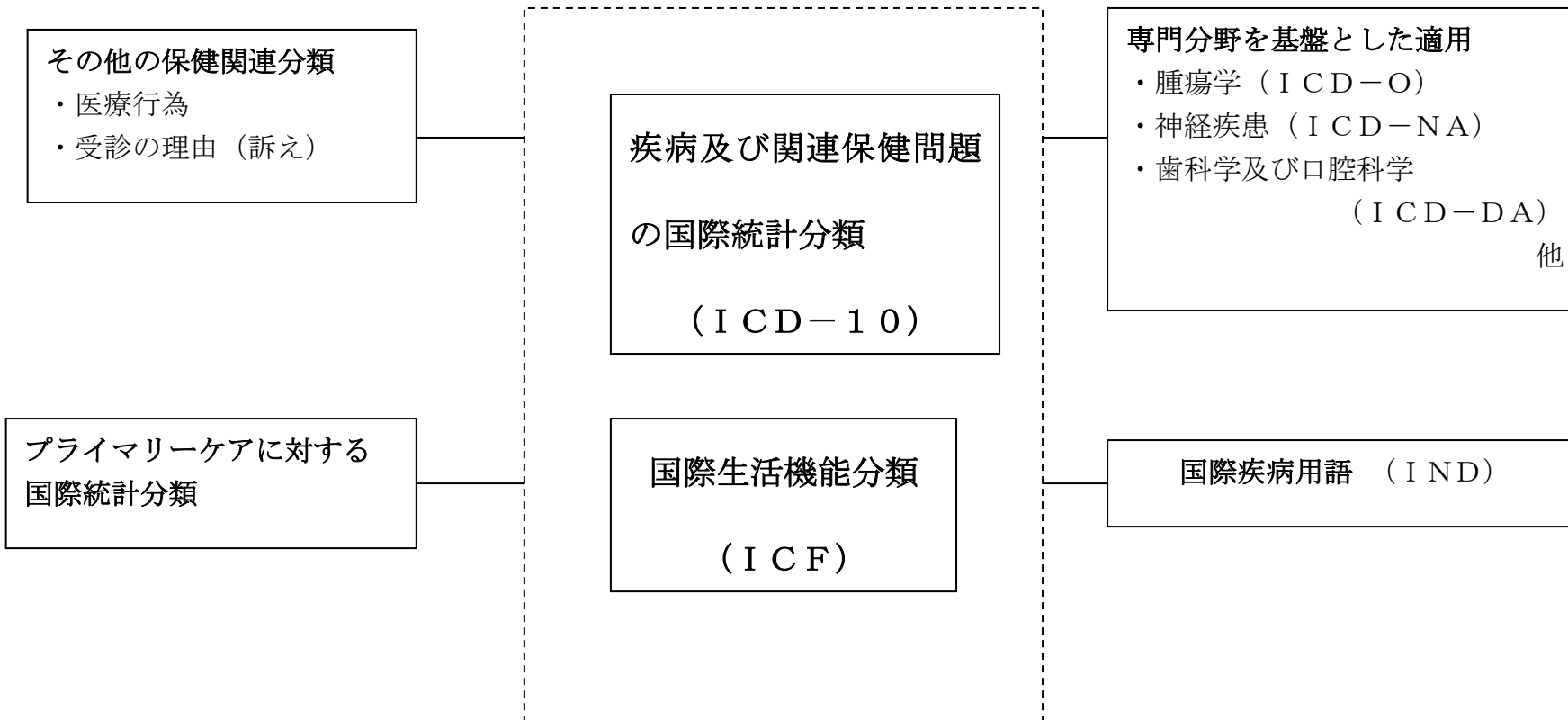
⑥ 電子媒体委員会 : Electric Tools Committee (ETC)

ICD-10 の CD-ROM 版の作成に携わるグループである。メンバーであるドイツ、フランスにより、試験的ではあるが英語版、仏語版の作成をすでに終え、その他の WHO 公式言語（スペイン語など）での作成についても取り組んでいる。

⑦ 国際生活機能分類 : International Classification of Functioning, Disability and Health (ICF) (障害保健福祉部担当)

国際分類ファミリー

Family of International Classification (FIC)



WHO-FIC センター長会議
WHO-FIC Heads of Centres Meeting

WHO 国際分類ファミリーセンター

- アメリカ合衆国：国立保健統計センター
- イギリス：全国統計局
- オーストラリア：オーストラリア国立保健福祉研究所
- クウェート：公衆衛生省統計・医療記録部
- ブラジル：サンパウロ大学公衆衛生学教室
- フランス：国立衛生・医学調査研究所
- ベネズエラ：ベネズエラ疾病分類センター
- 北 欧：ウプサラ大学病院社会医学部
- 中 国：北京医科大学病院
- ロシア：セマスコ科学調査研究所
- + 日本、ドイツ、オランダ

